

## 新組合長挨拶

代表理事就任にあたり

神村光雄



組合員の皆様におかれましては、常頃より森林組合の業務運営にご支援ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

私こと、五月二十五日に行われました「第十四回通常総代会」並びに「理事会」において、代表理事組合長と

いう重責を担うこととなりました。組合員の皆様を始め、役職員のご理解とご協力を賜りながら、組合員のための組合、地域のための森林組合として、負託に応えられるよう努めていく所存ですのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

また、本年は平成十四年十月の合併後十年の節目を迎えます。合併直後は、森林組合の体制を揺るがす大きな事案と、環境の激化により苦難の時期がありました。浦沢英一前代表理事組合長の下に役職員一体となって身を削りながら、苦境を乗り切ってきました。この時の教訓を肝に銘じて運営をしていく考えです。

さて、我が国の森林・林業の制度が改正されました。制度改正の概要は「ある程度の面積をまとめた森林経営計画区域が補助の対象となること」「搬出間伐が補助対象となること」等であります。当組合においては既に高性能林業機械の導入や作業道の作設、人材の育成等、これに対応すべく取り組みを始めていますが、厳しい仕組みとなつております。しかしながら、どのような仕組みに変わらうとも、森林組合の使命は山を守り、育て、将来に向けた山造りをどうするかであり、そのことによって山造りが停滞するようなことがあつてはならないと考えております。一様ではない森林の現状と共に、所有者である組合員

の意識も変わりつつある中で、森林組合はシッカリと現状を受け止め、組合員の皆様の声を聴き、共に考え、一体感を持って将来に繋がる山造りを目指す考え方であり、地域林業の中核的担い手であることを再認識し、諸課題に取組んでいく考えです。

「木曽森林組合は、組合員のため、地域のために、将来に向けた山造りに全力で取り組みます。」

また、その他各種事業実行に当たつても積極的に取り組み、目標の実現に向けて努力して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

結びにあたり、組合員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、就任の挨拶いたします。



■新役員

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	地区	備考
組合長	神村光雄	常勤	木曽町日義	前専務理事
副組合長	栗屋徳也	非常勤	木祖村	木祖村長
理事	千村稔	//	木曽町新開	
理事	磯尾秀雄	//	木曽町日義	
理事	松田武重	//	木曽町開田高原	
理事	横澤淳一	//	木曽町三岳	
理事	瀬戸普	//	王滝村	王滝村長
理事	原利雄	//	塩尻市権川	
理事	柴垣嘉和	//	//	職員兼務
代表監事	桑原昭一	非常勤	木曽町三岳	
監事	青木健市	//	木曽町新開	

顧みますと、昭和六十三年旧三岳村森林組合長を始として、途中に木曽郡森林組合合併推進委員会を経て本年まで二十五年間代表理事組合長としてお世話になりました。三岳村森林組合組合」発足以来、三期にわたり職員・組合員の皆様に温かいご支援をいただき、紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

平成二十四年の通常総代会を以て木曽森林組合を退任いたしました。平成十四年十月に新「木曽森林組合」発足以来、三期にわたり職員・組合員の皆様に温かいご支援をいただき、紙上を借りて厚く御

歩みを築いたことはこれから運営に大きな力になるものと思います。

時代が変わり、平成二十三年度には国による森林づくりが示され、森林組合も改革を進められております。皆様ご承知のとおり、健康で完全な森林づくりの為に、切捨てによる間伐を進めて参りましたが、現在は木材の需要を高め国産材による自給率を五十%迄上げるために、搬出による森林づくりを進めることになります。また、効率的に山の整備をするために広範囲での経営計画の作成も必要になつてきました。そのためには指導者の養成が急務であります。国や県で進めております養成機関に積極的に参加され木曽谷の中核森林組合としての基礎を築き上げることを願つております。そして、これからは多角的な組合経営も求められる時代ですので木曽地域の林業団体の総意を結集し、木曽の発展に寄与されますよう期待をいたします。神村組合長を中心として組織の和を大切にし、地域林業のためにリーダーシップを發揮されることを願うと共に、組合員の皆様の御多幸を祈念して退任の挨拶といたします。

長い間お世話になり、本当にありがとうございました。

社会環境の変化に伴い、木材価格の低迷など不況の時代を迎え、加えて畠参事の不慮の事故等苦難の時代もありました。しかし、職員一同災難に正面から立ち向かい、森林組合の確かな

